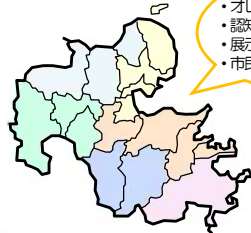


「認知症月間」「認知症の日」関連イベント

お住いの市町村の情報を
ぜひ覗いてみてください！

認知症に対する正しい理解や”新しい認知症観”の普及を進めるため、イベントや講演会等を県内上げて集中的に実施します。



・オレンジ色ライトアップ
・認知症映画上映会
・展示、街頭キャンペーン
・市民公開講座 など

<大分県ホームページ>



大分県ホームページ
で紹介中！

「大分オレンジカンパニー(認知症にやさしい企業・団体)」

地域で暮らし続ける上で欠かせない生活関連企業・団体等の方にも、認知症サポーターとなってもらい、認知症の人とその家族が「安心して暮らせる地域づくり」を応援しています。

<大分県ホームページ>



「オレンジステッカー」
が目印！

登録要件や登録している企業の情報等については、大分県のホームページをご覧ください。



おおいた認知症
情報サイト

おれんじ



ずっといきいき暮らせる
希望あるまちへ

認知症に関する様々な特集や
たくさんの情報が載っています！

<https://orange-oita.jp>



「もしかして認知症？」
と思ったときの
相談先・受信先

認知症になっても
笑顔でいきいきと
暮らしている人の
インタビュー動画

認知症の基礎知識
認知症カフェ・集いの場
認知症の人と家族の会

9月は「認知症月間」 9月21日は「認知症の日」です

- ✓2024年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定められました。
- ✓認知症は、誰でもなる可能性がある病気ですが、認知症になったからといって、全てのことができなくなるわけではありません。
- ✓私たちみんなが、“新しい認知症観”に考え方をシフトチェンジしていくことが大切です。

“新しい認知症観”とは

認知症になってからも、一人ひとりが
個人としてできること、やりたいことがあり
住み慣れた地域で仲間たちとつながりながら
希望をもって自分らしく
暮らし続けることができるという考え方



大分県高齢者福祉課

「テンポはゆっくり、
でも、きちんと考えている」

「認知症は見た目じゃわからないから
話を途中で切られてしまう」

「“また、できてなかったよ”
といわれると、
何も言葉が返せなくなる」

「認知症になった経験を活かして、
認知症になって不安な人を
元気づけたい！」

「“思い出せないね”と
笑い合える人がいることで
毎日が楽しくなる」

「話を聴いてほしい」

9月は「認知症月間」・9月21日は「認知症の日」

認知症のご本人から、みなさんに伝えたいこと

～ 地域で暮らす認知症のご本人の声 ～

認知症になってからも希望と尊厳を持って暮らせる社会をつくるためには、“本人の声を聴く”ことが最も重要です。

認知症を持ちながら暮らす本人に「本人しかわからないこと」を聞くことが、暮らしやすい社会をつくる出発点になります。

地域で暮らす認知症のご本人さんたちに、「認知症のご本人から、みなさんに伝えたいこと」を伺いました。

寄せられた多くの声の中から、一部をご紹介します！



「認知症の人と共につくる地域へ！」

「自分でゆっくりがんばりたい！
どうしたらできるか
一緒に考えてほしい」

「できないこともあるけど、
“やりたいこと”もある」

「認知症の症状は人によって全然違う
病気でひとくくりにしないで
私を知ってほしい」

「地域の偏見が、まだまだ強い」

「何か言いたいときに
ヒントをくれることで、
思い出すのを手伝ってほしい」

「認知症になったら、できない
に関わらず、色んなことを
取り上げられてしまう」